

<兵庫県学者・研究者有志アピール>

県民のみなさんへ

7月21日に、兵庫県知事選挙が予定されています。私たちは「憲法が輝く兵庫県政をつくる会」の取り組みに賛同し、これを応援するものです。

同会・代表幹事の一人である田中耕太郎さんは、県政刷新の指針に「日本国憲法」を高く掲げています。

日本と世界の平和をめざして活動する（全文・9条）、全国からの原発ゼロをめざし再生可能エネルギーを追求する（13条・幸福追求権）「法の下での平等」・男女の平等を推進する（14条・24条）、医療の拡充など県民の生存権をしっかり守る（25条）、すべての子どもに競争一辺倒でない、豊かな教育を保障する（26条）、県民のはたらく権利を守り、人間らしい労働条件をめざす（27条・28条）等々です。

現県政は、たびたび「震災の教訓」を口にしますが、実際に行なっていることは、県立こども病院を震災に弱いポートアイランドに移していく、阪神・淡路大震災の被災者を借り上げ住宅から追い出していく、全国に先駆けた大飯原発の再稼働を容認する、県民のくらしを直撃する消費税増税を推進するなど、住民の願いにそった「教訓」には、まるで反したものとなっています。

そうした中で、全国各地での政治の変化とも励まし合って、「兵庫県政はこれでいいのか」「兵庫の政治を変えよう」という声が、各層各地から、これまでになく強くあげられるようになっていきます。

「憲法が輝く兵庫県政をつくる会」の田中耕太郎さんは、長く、中小業者を守り発展させる仕事に従事し、平和と安全を願う原水爆禁止の運動にも、粘り強く取り組んできた人です。

田中耕太郎さんといっしょに「憲法が輝く兵庫県政」を実現しましょう。「憲法どおりの政治」を兵庫から全国に広げていきましょう。

2013年7月15日

石川康宏（神戸女学院大学教授）

大塚秀之（神戸市外国語大学名誉教授）

上脇博之（神戸学院大学大学院教授）

土屋基規（神戸大学名誉教授）

中村陽一（神戸大学海事科学部非常勤講師）

平野喜一郎（経済学者）

風呂本武敏（元神戸大学教授）

山家悠紀夫（暮らしと経済研究所主宰）

和田 進（神戸大学名誉教授）